



毎月20日は ペットフードの日

ペットフードやおやつの上手な与え方

体調を観察しながら適量を与える

ライフステージに合ったペットフードを選び、一日に必要なエネルギー量を目安に給与量を算出。それを食事回数で割って1回あたりの量を決めます。成犬や成猫の食事は出来れば朝晩の2回以上に分けて与えましょう。一日1食では空腹時間が長いためあわてて飲みこみ、喉に詰まらせてしまったり、嘔吐したり肥満の原因になったりすることもあります。子犬・子猫の場合は1回に食べられる量が少ないので、栄養をしっかりと与えるには一日数回に分けて与えましょう。成長期であるにもかかわらず、大きくさせたくないからと無理に食事量を抑えたり、ペットが喜ぶからとむやみに間食を与えるのは禁物です。運動量や健康状態によっても必要なエネルギーは変化するので、愛犬・愛猫の体調を見ながら調整することも必要です。

食事管理の基本

① 同じ食器を使いましょう。

同じ食器を使うことで、与える量が目分量でわかり、食べ残した量も把握しやすくなります。

② 同じ場所・同じ時間に与えましょう。

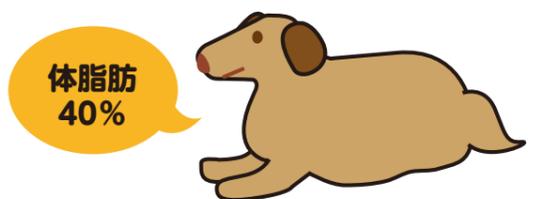
食事は、落ち着いて食べられる場所を決めること。むやみに場所を変えると、食べなくなることがあります。猫は自由給与でもOKですが、犬の場合は出来るだけ決まった時間に与えましょう。時間が経ったら、食べていなくても片付けるようにすると、正しい食習慣が身に着きます。

③ 同じ食事を与えましょう。

主食のフードは一度決めたら、必要がない限り、同じものを与えましょう。頻繁に変えると、常に新しいフードを求めるようになり、偏食の原因となります。また、新鮮な水がいつでも飲めるようにたっぷり用意しましょう。



体脂肪
35%



体脂肪
40%



ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより